

(1)学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進

①学研都市全体の一体性の確立、総合力の強化

行政間や立地機関間の連携、研究機能・都市機能の向上、情報発信

②近畿リサーチ・コンプレックスの中核として、研究開発プロジェクトの推進

近畿圏の研究機関や産業集積地と緊密に連携 → 近畿圏の経済再生

③持続可能な社会の実現に向けた新たな研究分野への積極的な取り組みと独創的な研究の育成

環境問題や食糧問題、エネルギー問題等の分野で積極的な社会貢献

(2) 学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

① 文化学術研究施設及び研究開発型産業施設や生産施設の立地促進

研究開発型産業施設の立地促進、関係機関が一体となった誘致活動

② 大学間のネットワークを核とした産学官連携の強化

都市内大学を中心に、共同研究や人材交流、機能の一部移転・立地、の促進

③ 産学官連携を促進するため、学研都市の情報交流機能などの強化

産学官連携窓口の強化、研究情報の収集・データベース化、ワンストップサービス

④ 中堅や中小企業の支援、ベンチャー企業の育成による新産業の創出

技術や資金の支援、オープンラボ・インキュベート施設の充実、人材育成

(3) 学研都市発の新たな文化の創造を目指して

① 文化教育機関の機能の高度化と連携の促進

国立国会図書館、私のしごと館などの整備充実、各施設間の連携

② デジタル文化やコンテンツ産業などの新たな産業文化の創造

人文社会科学と先端技術が融合した新しいデジタル文化の振興

③ 地域に密着した学研都市固有の生活文化の創造

市民・NPO活動、市民と立地機関との交流事業等の一層の促進

(4) より世界に開かれた国際的な都市への展開

① アジア地域を中心に世界各国との交流連携を目指して

海外に向けた戦略的体制の構築・窓口の一元化、共同研究等の交流連携の促進、海外企業の誘致、投資促進、国際会議の開催

② 外国人研究者の居住や一時滞在のための環境整備

海外からの研究者などが快適に都市活動や生活を楽しむことができる都市環境の整備

(5) 多彩で魅力的な創造都市の形成

① 多彩で魅力ある都市の形成

賑わいをもった拠点地区の形成、学研都市ならではのライフスタイルの実現、里山環境の保全、自然環境との共生

② パイロット・モデル都市の展開

都市活動における課題の解決に向け新たな住宅地を舞台とした実践的な取り組み

③ 「体験し学ぶ新たな観光」の推進

体験型学習施設や視察可能な施設等を活用した新たな観光ルートの設定

(6) 学研都市の活動を支える基盤整備のスピードアップ

① クラスター(地区)の整備促進など

事業実施中の地区の整備促進、未着手地区の今後のあり方の検討

② クラスター(地区)の特徴に応じた低未利用地の有効活用

低未利用地への立地誘導、住宅整備等の有効活用、暫定利用の検討

③ 関西国際空港などへアクセスする道路、クラスター(地区)間を連絡する道路の早期整備

広域幹線道路の早期整備、クラスター間の連絡道路の早期整備

④ 鉄道やバスの輸送力の強化及び利便性の向上

鉄道・バスの輸送力強化・利便性向上、けいはんな線の延伸検討

(7) 本格的な都市活動を支える「都市の運営」の展開

① 高度な都市の運営に対する大学や専門家を中心としたアドバイザー体制の確立

都市運営の戦略に関して提言、指導、評価などを行なう学識者や専門家によるアドバイザー体制を確立

② 近畿圏全体で学研都市の運営を支える体制の確立

3府県にまたがる地域行政的課題に対応する新たな組織体制の確立